

Red Hat Partner ワークショップ

OpenShift 基礎編

はじめの資料

レッドハット株式会社
パートナーソリューションアーキテクト部
最終更新日:2023年11月

本日のスケジュール


長時間となりますが楽しく実施しましょう！

タイムテーブル		担当	開始	終了
1	PTPの説明 (20min)	手塚	13:00	13:20
	OpenShift概要 (40min)	手塚	13:20	14:00
	休憩 (10min)		14:00	14:10
2	OpenShift ユーザエクスペリエンス (25min)	手塚	14:10	14:35
	アプリケーションデプロイメント (35min)	手塚	14:35	15:10
	休憩 (10min)		15:10	15:25
4	ハンズオン1 (40min)	手塚	15:25	16:05
	ハンズオン2 (60min)	手塚	16:05	17:05
5	OpenShift コアバリュー (20min)	手塚	17:05	17:25
6	ラップアップ・アンケート	手塚	17:25	17:30




Red Hat Partner Connect (パートナー向けポータルサイト)

レッドハットサイト全体イメージ(All Red Hat)

 **Red Hat**


All Red Hat

登録

 **Red Hat**


Red Hat の製品、サービス、企業情報について

redhat.com

 **Red Hat Customer Portal**


オープンソースのエキスパートによるサポートと知識

access.redhat.com

 **Red Hat Developer**

開発者向けチュートリアルと Red Hat ソフトウェアでクラウド・アプリケーション開発を支援

developers.redhat.com

 **Red Hat Partner Connect**

Red Hat のパートナーエコシステムについての詳細、パートナーとソリューションの検索、パートナー登録、およびパートナーアカウントへのログイン

connect.redhat.com

製品

[Ansible.com](https://www.ansible.com)
シンプルな IT 自動化

[Red Hat Hybrid Cloud](https://www.redhat.com/hybrid-cloud)
Red Hat のハイブリッドクラウド・マネージドサービスに特化した技術的なハウツー情報、チュートリアルおよびラーニングパスへのアクセス

[Red Hat Store](https://www.redhat.com/store)
製品とサービスのオンライン購入 (グローバル/英語)

[Red Hat Marketplace](https://www.redhat.com/marketplace)
コンテナベースの環境向けの認定済みエンタープライズ・ソフトウェアを試用、購入、販売

試す、買う、売る

コミュニティとオープンソース

[The Enterprisers Project](https://www.enterprisersproject.org)
CIO が執筆した、CIO のためのトピックス

[Opensource.com](https://www.opensource.com)
オープンソース・ソリューションに関するトピックス

Red Hat Summit

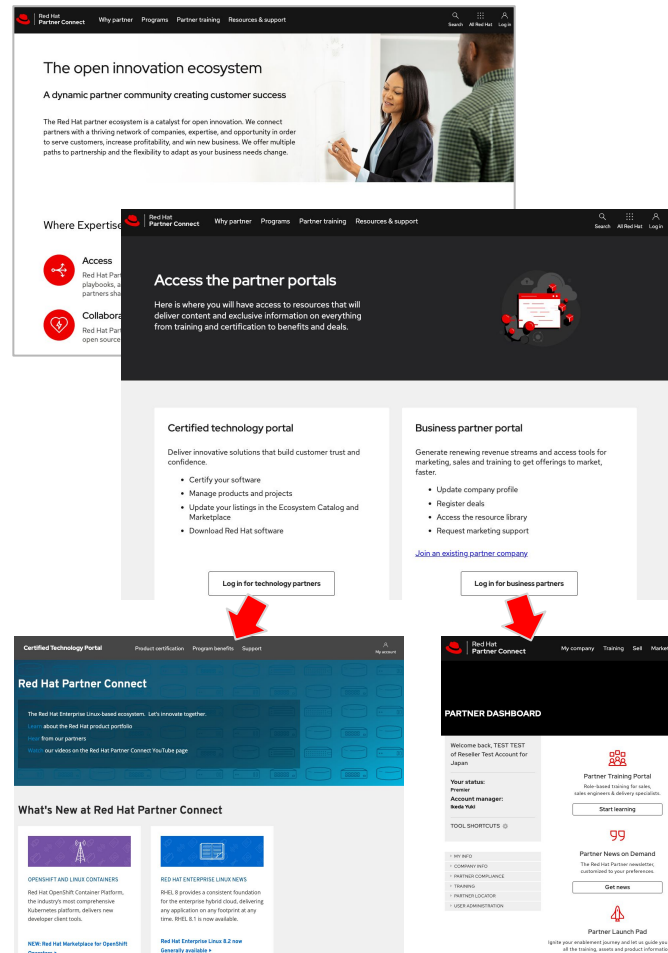
Red Hat が毎年開催するオープンソース IT 業界イベント

[Red Hat Ecosystem Catalog](https://www.redhat.com/ecosystem-catalog)
Red Hat テクノロジーとの連携が認定されたハードウェア、ソフトウェア、およびクラウド・プロバイダーの検索と、認定済みコンテナイメージのダウンロード

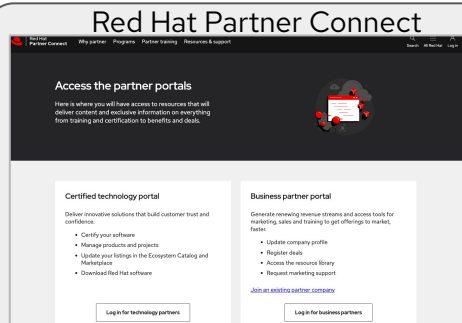
Red Hat Partner Connect

<https://partnercenter.redhat.com/>

- レッドハットがグローバルで共通に提供している**パートナー様向けのポータルサイト**
- **テクノロジーパートナー**と**ビジネスパートナー**の2つのサイトを用意(ログインが別)
- テクノロジーパートナー向け
 - 認定のための情報
 - 認定プロセス実行
 - サポート問合せ
- ビジネスパートナー向け
 - トレーニング : Partner Training Portal
 - 共有資料 : Content Center
 - デモ環境 : Red Hat Product Demo System

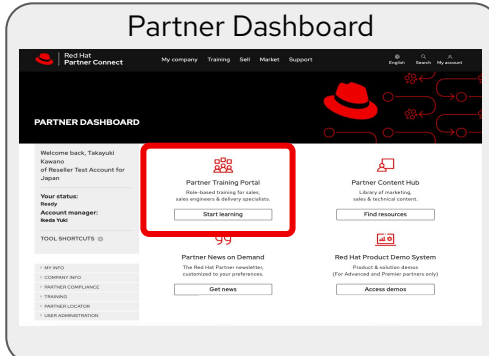


Red Hat Partner Connect サイトコンテンツ

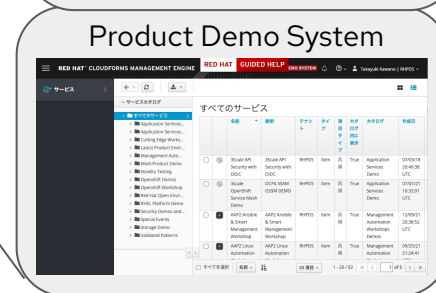
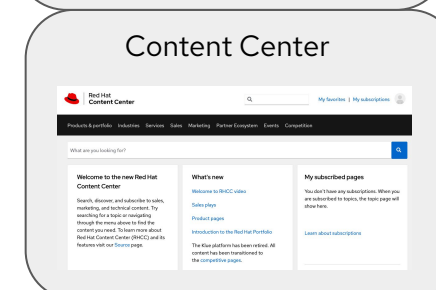
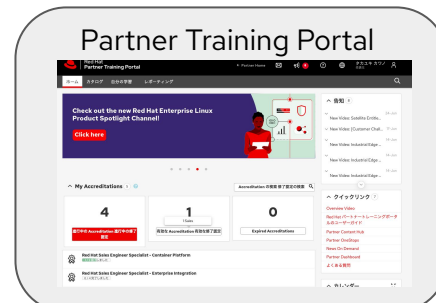


https://connect.redhat.com/

- ・パートナー向けサイト
- ・パートナータイプ別ログイン
(テクノロジーパートナーは認定、
ビジネスパートナーは各コンテンツ
を利用)



- ・ダッシュボード
 - Partner Training Portal
 - Partner Content Center
 - Red Hat Product Demo System
 - Etc..



Red Hat Partner Connect アカウント作成

Partner Connectのコンテンツは **パートナー企業に紐付いたレッドハット アカウント**をご作成頂くことで利用可能です

アカウント作成のガイドを下記ページで公開しておりますので、
こちらをご参照の上アカウントを作成ください

<https://rh-open.github.io/offering/register-partner-connect.html>

- 作成のプロセス内で、アカウントと企業の紐付けのためご所属企業の **パートナータイプ** のご指定が要求されます
パートナータイプが不明な場合、Red Hatの担当営業までお問い合わせ下さい

The screenshot shows a web page titled "Red Hat Partner Connect アカウント作成手順" (Red Hat Partner Connect Account Creation Procedure). The page is in Japanese and provides instructions for creating a Red Hat Partner Connect account. It includes a section for "前提条件" (Prerequisites) and a section for "手順" (Procedure). The "手順" section lists the first step: "1. Red Hat公式サイトへアクセスを行い、画面右上の ログイン を選択します。" (1. Access the Red Hat official website and select the login button in the top right corner of the screen). Below the text, there is a screenshot of the Red Hat website's navigation bar. The "ログイン" (Login) button, which includes a user icon, is highlighted with a red rectangle.

🔗 / offering / register-partner-connect.mdx

Red Hat Partner Connect アカウント作成手順

Red Hat Partner Connectは、Red Hatアカウントをご作成頂き、アカウントに対し「貴社パートナーとして頂くことでアクセスが可能となります。

本書ではRed Hatアカウントを作成し、パートナー企業アカウントへの紐付けを行うための手順を

前提条件

- Red Hatパートナー登録済み企業ドメインのメールアドレスが必要です。
 - フリーメールなど、パートナー企業様のドメインではないメールアドレスでは登録できません。
- Red Hatとのパートナー契約におけるパートナータイプ（リセラー、システムインテグレーター）が必要です。
 - ご不明な場合、ご所属企業におけるRed Hat担当者様、またはRed Hatの担当営業までお問い合わせください。

手順

- Red Hat公式サイトへアクセスを行い、画面右上の **ログイン** を選択します。

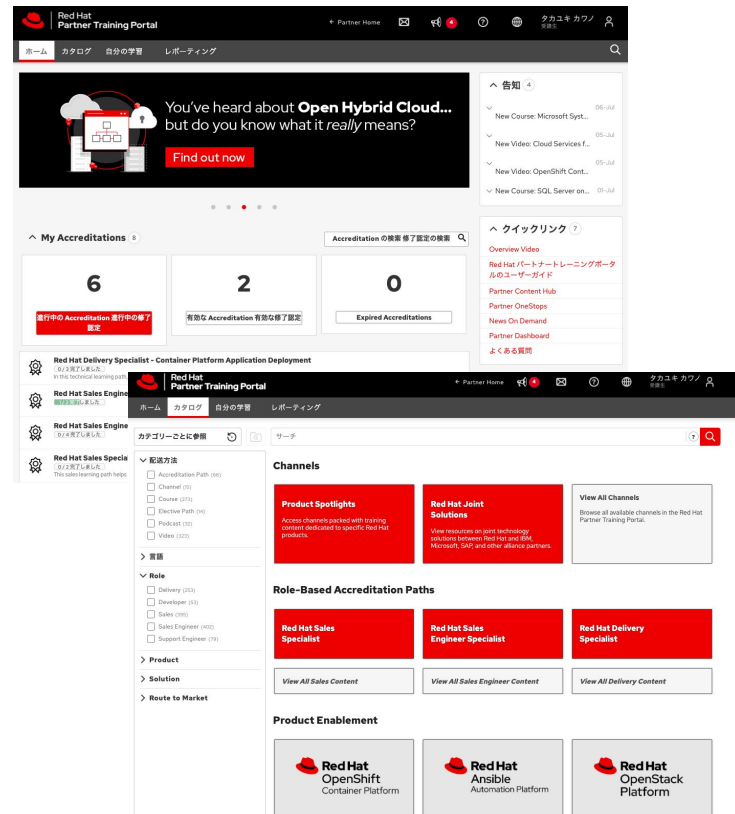
The screenshot shows the Red Hat website's navigation bar with the following items: コンソール, 開発者向け, 製品を試用する, つながる & 購べる, Red Hat について, 検索, お勧めのリリース, お問い合わせ, 日本語, and **ログイン** (highlighted with a red rectangle).

Partner Training Portal

Red Hat Partner Training Portal 概要

- パートナー様向けのeラーニングシステム
- 3つのロール別のコンテンツを用意
 - 営業
 - セールスエンジニア
 - デリバリー
- コンテンツのカテゴリは以下の6つ

Course	Eラーニングのコース(日本語も用意)
Credential (旧Accreditation)	営業および技術営業(プリセールス)向けの製品別のスキル認定。認定ごとにラーニングパスが用意されており、パスに含まれるコースを全て受講完了すると認定が発行される
Elective Path	営業と技術営業(プリセールス)ロール向けの製品別ラーニングパス
Podcast	音声コース
Video	動画コース
Channel	技術やサービスで纏められた各種コンテンツのセット。サブスクライブして利用



コースコンテンツ

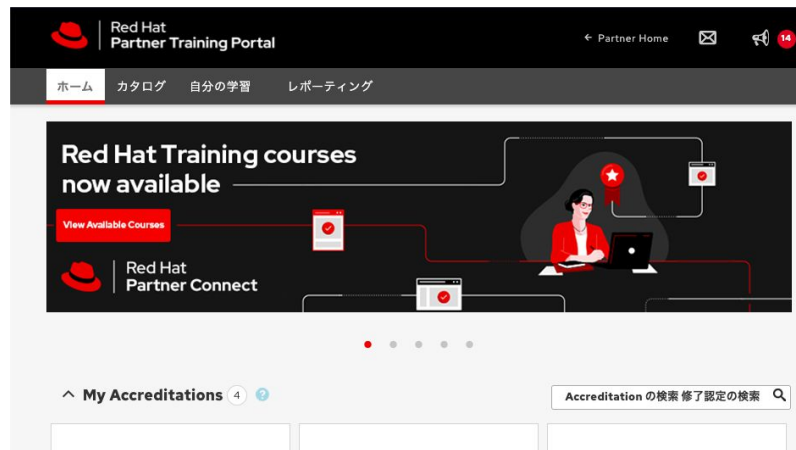
- 営業向けコンテンツ
 - 技術、サービス、製品基本情報
 - **How to sell**情報
- セールスエンジニア向けコンテンツ
 - How to sell情報
 - **テクニカルセールス**情報
- デリバリー向けコンテンツ
 - テクニカルセールス情報
 - 製品基本機能ハンズオン
 - **製品機能詳細説明・ハンズオン**
 - **レッドハットトレーニングコース**



レッドハットトレーニングコースの受講

Partner Training Portalでは、Red Hatの有償トレーニングサービス([Red Hat Training](#))で提供されているコースの一部を無償で受講頂けます

Red Hat認定資格に対応した学習コースとなっているため、認定資格の取得にお役立て下さい



公開されたコースの例

- Red Hat Enterprise Linux Automation with Ansible (RH294)
- Red Hat System Administration 1 (RH124)
- Red Hat OpenShift I: Containers & Kubernetes (DO180)

など

※ Partner Training Portalでの公開内容は座学資料・ラボ環境のみです
対面でのトレーニングやエキスパートによるビデオ、および認定試験の受験が必要な場合はトレーニングサービスをご購入ください

受講可能なレッドハットトレーニングコースの一例

Application Development Courses		Cloud Courses		Platform Courses	
Cloud-Native Integration with Red Hat Fuse (AD221)	32h	Red Hat OpenStack Administration 1: Core Operations for Cloud Operators (CL110)	40h	Red Hat System Administration I (RH124)	40h
Developing Application Business Rules with Red Hat Decision Manager (AD364)	24h	Red Hat OpenStack Administration 2: Day 2 Operations for Cloud Operators (CL210)	32h	Red Hat System Administration II (RH134)	40h
Red Hat AMQ Administration (AD440)	16h	Cloud Storage with Red Hat Ceph Storage (CL260)	40h	Red Hat Enterprise Linux Automation with Ansible (RH294)	32h
Developing Event-Driven Applications with Apache Kafka and Red Hat AMQ Streams (AD482)	24h			Red Hat Virtualization (RH318)	40h
				Red Hat Enterprise Linux 8 New Features for Experienced Administrators	32h
DevOps Courses					
Introduction to OpenShift Applications (DO101)	8h	Red Hat OpenShift Installation Lab (DO322)	16h		
Red Hat OpenShift I: Containers & Kubernetes (DO180)	24h	Red Hat OpenShift Migration Lab (DO326)	24h		
Cloud-Native API Administration with Red Hat 3scale API Management (DO240)	32h	Red Hat OpenShift Service Mesh (DO328)	24h		
Red Hat OpenShift II: Operating a Production Kubernetes Clusters (DO280)	24h	Enterprise Kubernetes Storage with Red Hat OpenShift Data Foundation (DO370)	32h		
Red Hat OpenShift Development II: Containerizing Applications (DO288)	32h	AAP 2.0 Developing Advanced Automation with Red Hat Ansible Automation Platform (DO374)	32h		
Red Hat OpenShift Administration III: Scaling Kubernetes Deployments in the Enterprise (DO380)	32h	Red Hat Cloud-Native Microservices Development with Quarkus (DO378)	32h		

AccreditationからCredentialへの移行

2023/9より、Accreditation (Partner Training Portal上の認定取得の仕組み) は **CredentialおよびCertification**に移行します

移行による変更はロール毎に下記の通りです

営業/技術営業向け Accreditation

- 従来のAccreditationは2023/9で廃止(新規取得不可)となりました。ただし、Accreditationパスの受講登録済みの場合は2023/10末まで受講および認定取得が可能です
- 新たな認定として **Credential**がリリースされました
 - 2023/9時点ではAnsibleとOpenshiftおよびCloud Serviceが対象。今後拡大予定
- 移行後も取得済みの Accreditationは有効のままのため、パートナー要件達成のための Credential取得は不要です
既存のAccreditationの期限切れ(取得後2年)のタイミングでCredentialを取得ください

デリバリーエンジニア向け Accreditation

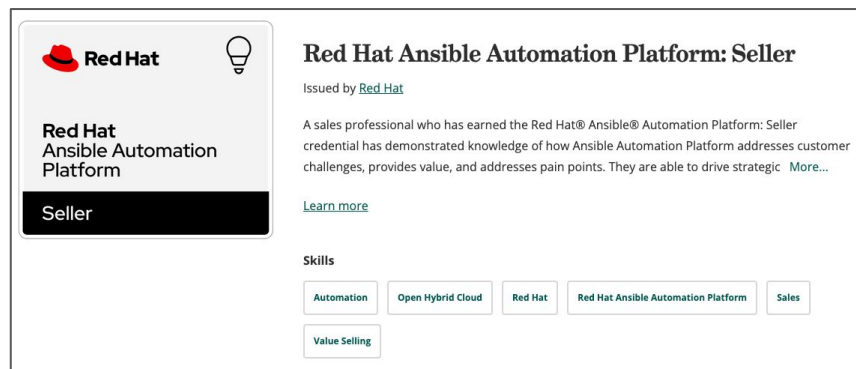
- 従来のAccreditationは2023/12末で廃止(新規取得不可)となります
- デリバリーエンジニア向けの認定は Red Hat認定資格: [Red Hat Certification](#)と統合されます
(Accreditationに変わるものはリリースされません)
- 移行後も取得済みの Accreditationは有効のままのため、パートナー要件達成のための Red Hat Certification取得は不要です
既存のAccreditationの期限切れ(取得後2年)のタイミングでRed Hat Certificationを取得ください

Credentialについて

Partner Training Portalでは、営業職と技術営業職（プリセールス）の方を対象とした製品ごとのスキル認定（**Credential**）の取得が可能です

無償で取得でき、対外的にスキルを証明できるものとなっているため、是非ご学習に合わせて取得をご検討ください。

- ラーニングパス形式での取得（パスに含まれるコースを全て受講完了することで認定を取得）
- 取得したCredentialはCredlyのデジタルバッジとして発行。Linkedin等のソーシャルアカウントに連携可能
- 2023/9時点ではOpenShiftとAnsible、Cloud Serviceが対象。随時拡充予定



取得可能なCredential一覧(2023/9時点)

営業(Seller)向け

技術営業(Technical Seller)向け

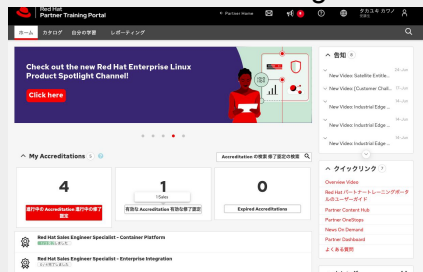
OpenShift	Red Hat OpenShift: Seller	Red Hat OpenShift: Technical Seller
Ansible	Red Hat Ansible Automation Platform: Seller	Red Hat Ansible Automation Platform: Technical Seller
Cloud Service	Red Hat Cloud Services: Seller	Red Hat OpenShift Service on AWS: Technical Seller Microsoft Azure Red Hat OpenShift: Technical Seller

※1 各製品のCredentialの受講・取得には、前提コースとなる [Red Hat Portfolio: Foundational](#)の受講完了が必要です

※2 技術営業向けのCredentialの受講・取得には、先に同製品の営業向け Credentialの取得完了が必要です

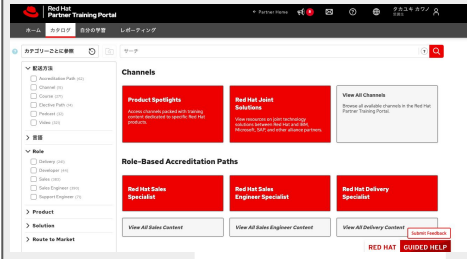
Red Hat Partner Training Portal サイトイメージ

Red Hat Partner Training Portal



- ・パートナートレーニングサイト
- ・アップデート情報
- ・各コンテンツクイックリンク
- ・おすすめコース

カタログ



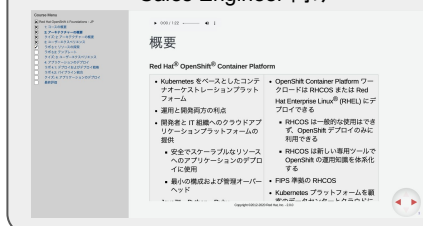
- ・コンテンツカタログ
- ・検索機能
 - コンテンツ種別
 - 言語
 - 学習ロール
 - 製品
 - ソリューション

Sales向け



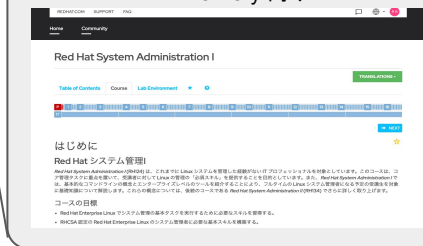
- ・製品やソリューションに関する
- How to sell情報
- ・各コースは0.5h~2h
- ・Credentialは複数コースの受講・アセスクリアで完了

Sales Engineer 向け



- ・製品やソリューションのHow to sellと基本技術情報
- ・各コースは0.5h~12h
- ・Credentialは複数コースの受講・アセスクリアで完了

Delivery 向け



- ・ハンズオンを主体とした実践向けコース
- ・各コースは4h~40h
- ・Red Hatトレーニングコースと同時ものを多数用意

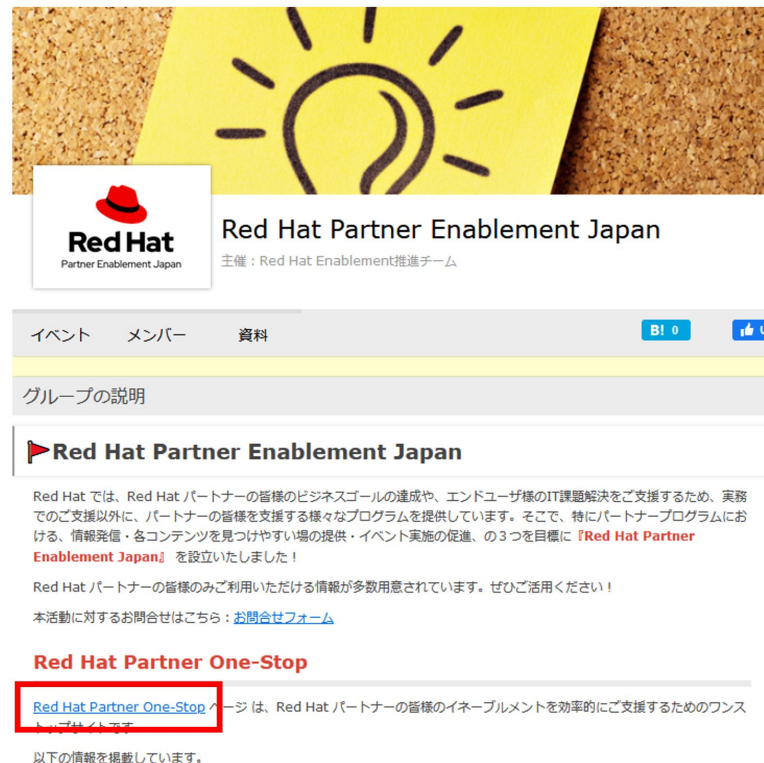
パートナー様向けポータル - <https://red.ht/pej> ～ Red Hat Partner Enablement Japan ～



Red Hat の情報 & 無償ワークショップを提供

2020年10月オープン(メンバー約600名)!!

- 各種イベント(数回/月)
 - ハンズオンワークショップ (OpenShift, Ansible他)
実績: 31回 / 延べ 約 500人 の参加者
 - 勉強会 (Partner Training Portal の活用方法など)
 - Red Hat イベント開催後のサマリ提供...etc
- Partner One-Stop (有用コンテンツへのリンク)
 - アカウント作成方法
 - 製品情報/戦略や顧客へのアプローチ用資料
 - 事例集(業種別・総合)
 - サブスクリプションの数え方
 - ラーニングパス(効率的な学習方法)
 - 製品マニュアルや製品仕様へのリンク



パートナー様向けポータル - <https://red.ht/pej> ～ Partner One Stop ～

製品情報や事例など有用なリンク情報提供開始！

『Partner One-Stop』

<https://rh-open.github.io/>

有用なコンテンツ満載です。Red Hat について調べたい場合はまずここをご確認ください。

※コンテンツ閲覧には[パートナーコネクティD](#)が必要となります。

Red Hat Partner One-Stop

Type any keyword...

トレーニング関連情報

1. Red Hatのトレーニングコンテンツ

2. Red Hat Partner Training Portalの登録方法

3. Red Hat Partner Training Portalの使用法

製品紹介資料・事例・レポート関連

1. テーマ別アプローチ・戦略ガイド

2. 業種別 課題解決・事例

3. イベント講演資料リンク集

4. (オリジナル解説済み) レッドハット製品情報

レッドハット製品情報

1. Red Hat Enterprise Linux

2. Red Hat Ansible Automation Platform

3. Red Hat OpenShift Container Platform

01. 製品説明資料

02. 製品技術資料

03. 学習リソース

04. 関連情報

4. Red Hat Integration

5. Red Hat Advanced Cluster Management for Kubernetes

6. Red Hat Advanced Cluster Security for Kubernetes

7. Red Hat OpenShift Data Foundation (オリジナル解説済み) その他情報

Products | openshift.md

Red Hat OpenShift Container Platform

 **Red Hat**
OpenShift

Red Hat OpenShiftはエンタープライズ Kubernetes プラットフォームのリーダーであり、デプロイ先がどこであっても、クラウドのようなエクスペリエンスを実現します。クラウドでも、オンプレミスでも、エッジでも、Red Hat OpenShiftを使用すると、一貫したエクスペリエンスを通じてアプリケーションを構築、デプロイ、実行する場所を選択できます。Red Hat OpenShiftのフルスタックの自動運用と開発者向けのセルフサービス・プロビジョニングにより、複数のチームが連携して、開発からプロダクションへとアイデアを効率的に展開できます。

Note

本ページに記載のリンクの一部は、参照にRed Hat Partner Content Hubへのログインが必要です。Partner Content Hubのログインアカウントをお持ちでない場合、Red Hat Partner Training Portalの登録方法を参照しPartner Connectへの登録をご実施ください。

掲載資料へのお問合せ、資料のリンク切れなどは[こちらのフォーム](#)からお問合せください。

最終更新日: 2022/06/30

01. 製品説明資料

01-01. 製品概要

	ドキュメント名	概要	対象バージョン	記載確認日
	コンテナプラットフォーム Red Hat OpenShiftのご紹介	Red Hat OpenShiftの紹介動画です。	-	2022/05/30
	Red Hat OpenShift -- Innovation without limitation	Red Hat OpenShiftの製品紹介にご利用いただけるプレゼンテーション資料です。	-	2022/05/30
	Red Hat OpenShift Container Platformデータシート	Red Hat OpenShiftの特徴と機能の概要を記載したデータシートです。	-	2022/05/30

01-02. ソリューション・製品事例

	ドキュメント名	概要	対象バージョン	記載確認日
	JAPAN CUSTOMER SUCCESS SLIDES DECK	日本の事例を中心に、Red Hat製品の事例をまとめたプレゼンテーション資料です。	-	2022/07/07
	Red Hat お客様導入事例	Red Hatの製品事例を製品や業種、ビジネス課題をもとに検索可能なウェブサイトです。	-	2022/07/07

本日の進め方

Workshop スライド & ハンズオンコンテンツ

コース説明のため、ドキュメントはそれぞれこちらにまとめています。

説明資料(座学資料)

<https://github.com/RH-OPEN/ptp-openshift/tree/rev6/slides/basic>

ダウンロード可能ですので、必要に応じてお手元にご準備ください

ハンズオンコンテンツ

https://nueda-rh.github.io/openshift-workshop/modules/03_OpenShift_User_Experience/chap-3.html

ハンズオン環境のデプロイ

1) 下記ラボ環境抽出しURLにアクセスしてください

<https://demo.redhat.com/workshop/a2qb4u>

Red Hat OpenShift Container Platform 4.13 Workshop

Access to Red Hat OpenShift Container Platform 4.13 Workshop

Email * ⓘ
email@redhat.com

Workshop Password * ⓘ
[Empty Password Field]

Access this workshop →

2) 下記を入力後、
「Access this workshop」を押してください

Email: メールアドレス
(ユーザを一意に識別するためですの
で、なんでも構いません)

Workshop Password
講師からチャットでお知らせします

ワークショップ スタート

本日のスケジュール

長時間となりますが楽しく実施しましょう！

タイムテーブル		担当	開始	終了
1	PTPの説明 (20min)	手塚	13:00	13:20
	OpenShift概要 (40min)	手塚	13:20	14:00
	休憩 (10min)		14:00	14:10
2	OpenShift ユーザエクスペリエンス (25min)	手塚	14:10	14:35
	アプリケーションデプロイメント (35min)	手塚	14:35	15:10
	休憩 (10min)		15:10	15:25
4	ハンズオン1 (40min)	手塚	15:25	16:05
	ハンズオン2 (60min)	手塚	16:05	17:05
5	OpenShift コアバリュー (20min)	手塚	17:05	17:25
6	ラップアップ・アンケート	手塚	17:25	17:30



Thank you

Red Hat is the world's leading provider of enterprise open source software solutions. Award-winning support, training, and consulting services make Red Hat a trusted adviser to the Fortune 500.